

総合評価

(入田中学校)

○生徒・保護者アンケートは、一部課題はあるものの、ほとんどの項目で肯定的な評価を得ることができた。今後は、この課題をもとに、きめ細かな学校運営に取り組んでいきたい。

◎本年度の重点目標・重点実践事項・評価と課題について

重点目標：小規模校の強みを生かし、生徒一人一人が美しく輝く教育の実践

(重点実践事項・評価と課題について)

I 少人数学習であることの強みを生かし、生徒一人一人の学力の向上を図る。

- ・個性を活かした、きめ細かな指導の徹底
- ・「思考力・判断力・表現力」の育成
- ・読書活動の推進
- ・保護者と連携した家庭学習の充実

総合評価(B)

○学校での授業においては、タブレット端末の活用に全職員で取り組み、工夫した授業を目指すことで、生徒からも保護者からもわかりやすい授業と質問しやすい環境で学習できているとの評価を得た。

○家庭学習においては、毎日する習慣があまりついていないと答えた生徒や保護者が4割ほどいたので、家庭学習の定着が図れるように、学習の仕方の提示や確認の徹底などを行い、自主的に学習に臨む生徒の育成を目指したい。

II 校内研修を充実させ、教員の授業力の向上を図る。

- ・「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現
- ・幼・小・中と連携した、「新・学び合いウィーク(相互授業参観)」

総合評価(A)

○教職員の自己評価にも表れているように、生徒の理解や個を意識した指導を心がけ、また気になる生徒の支援の仕方について、全職員で共通理解を図り、巡回相談員の方の研修を受け、それを授業や指導に活かしている。

○相互授業参観においては、指導方法、発問、板書、タブレット端末の活用法など、校種や教科を超えて深い学びができたと感じる。また、評価し合うことにより、振り返りを行い課題を見つけ、次に活かすことにつながった。

III 生徒一人一人が美しく輝く教育を展開し、自尊感情や自己有用感を高める。

- ・成就感と達成感のある「授業」や「体験的な活動」の推進
- ・生徒を理解し、励まし、将来を見すえた支援の実施
- ・生徒が活躍する場を生み出す生徒会活動「入田スマイルプロジェクト」の推進
- ・学年を超えた縦割り活動の充実など、全校で取り組む仲間づくりの推進

総合評価(A)

○生徒会活動の活性化を目指した「入田スマイルプロジェクト」が軌道に乗り、生徒会を中心に、それぞれの委員会で考え出したプロジェクトの活動に、学校全体で取り組むことができた、意義深い1年間であった。多くの生徒が「責任をもって取り組んでいる」と答え、成就感や達成感を味わったと感じられる。

○本校では学校行事のほとんどを縦割り班で行っているが、「仲間や先輩・後輩と協力して学校行事に取り組んでいる」と答えた生徒が100%であり、本校の特色である小規模校のよさを十分生かす結果となっている。

Ⅳ コミュニティスクールの理念を生かし、地域に密着した教育の充実を図り、将来の地域を担う人材を育成する。

- ・幼稚園・小学校・地域と協働して取り組む行事の充実と推進
- ・職場体験学習の充実
- ・ボランティア活動の推進

総合評価(A)

- コロナ禍での限られた交流や体験活動となったが、だからこそこれまでの地域の方との関わりに感謝する気持ちや、今後の交流の必要性にも気付くことができた。
- 幼・小・中の9年間で成長することができる「入田学園」のよさを、教師はもちろん生徒自身が感じられるような行事や交流を今後も行っていきたい。また、中学生として、地域のために何ができるか、何をすべきか、ということを考える生徒の育成を、今後も目指していきたい。

Ⅴ 人権教育・道徳教育を充実させ、道徳性や人権教育の精神を養う。

- ・人権学習や道徳の時間を要とし、学校教育全体で美しく豊かな心の育成
- ・いじめや差別を許さない強い意志と実践力を備えた生徒の育成

総合評価(A)

- 今年度は、徳島市人権教育研究大会(ブロック人権)が本校で実施された(紙面開催)が、それに向けて、全教員がそれぞれの立場で全体学習を行い、学年を超えて話し合い、考えを深めたことは、視野を広げ人権意識を高める上で、とても効果的で意義深い取り組みとなった。生徒の話し合いも、授業を重ねる度に活発になっていった。また、幼稚園・小学校の先生方の参観や感想をいただき、次の実践につなげていくことができると感じている。
- 生徒の気持ちは育ってきているので、それを行動化につなげていくために、今後も人権教育・道徳教育を充実させていきたい。

Ⅵ 「行きたい、行かせたい入田中学校」の実現を目指す。

- ・家庭・地域との連携を密にし、地域から信頼され、愛される学校づくり
- ・常に美しさを感じられる学習環境づくり
- ・魅力ある教育活動の創造
- ・学校だより、学校ホームページ、入田タイムズなどによる地域への積極的な情報発信

総合評価(B)

- 掲示物を工夫した美しい環境づくり、入田中だより・入田中タイムズ・ホームページなどの情報発信により、コロナ禍の中でも学校の様子や生徒の頑張りを伝えることができ、保護者からの「よく伝えている」という回答も9割を超えていた。
- 保護者から見た生徒の様子は、楽しんでいると感じている回答が8割を超えていたが、生徒自身の回答では7割を超えるに留まっており、思春期における小規模校での友達との関係づくりや進路等で悩む生徒への言葉かけや関わりに、今後も全職員で取り組み、全員が楽しいと言える学校づくりに努めていく。